

京 都 大 学 薬 学 部 学 修 要 項

(平成30年度以降入学者適用：薬科学科・薬学科)

(平成30年3月8日教授会承認)

(令和6年3月14日教授会承認)

- I** 卒業に要する授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとし、そのうち全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。
- II** 学部科目及び本学部で開講する全学共通科目の必修科目、選択必修科目及び選択科目の別、単位数、配当年次等は、別表第3のとおりとする。
- III** 全学共通科目の履修は、別に定めるところによる。
- IV** 学部科目の履修は、次の規定によるものとする。
- イ 実習科目は、実習日程表にしたがって履修するものとする。
 - ロ 履修に当たっては、前期及び後期のそれぞれの指定期間内に履修登録をしなければならない。
 - ハ 同一の曜日時間に行われる授業科目の履修登録は、全学共通科目、学部科目を問わず原則として認めない。
 - ニ 履修登録のない授業科目の履修は、原則として認めない。
 - ホ 実習期間中にやむを得ず他の授業科目を履修しようとする者は、当該実習担当教員の許可を得なければならない。
 - ヘ 試験に欠席した者は、速やかに薬学部長あてに理由を付して欠席届を提出しなければならない。この場合において、正当な理由があるときは、追試験を許可することがある。なお、欠席届は、あらかじめ当該授業担当教員の承認を得てから提出するものとする。
 - ト 所定の試験又は追試験に合格しない者が合否発表後指定の期日までに受験を申し出た場合は、1回に限り再試験を許可することがある。
 - チ 学部科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。ただし、再試験で60点以上をとった場合の成績評価は60点とする。
 - リ 上の規定にかかわらず、科目によっては成績評価を単に合格又は不合格とする場合がある。
 - ヌ 学部科目及び全学共通科目の試験において不正行為があった場合、当該行為を行った学生の当該年度における単位取得を無効にする等の措置を行う。
- V** 薬学専門実習の履修は、次の規定によるものとする。
- イ 全学共通科目の卒業要件単位64単位のうち、56単位以上を修得し、かつ、学部科目において、必修科目12単位以上及び選択科目14単位以上を修得した者は、薬学専門実習を履修することができる。
 - ロ 上の規定にかかわらず、特別の理由がある場合は、教授会の議を経てイの要件を満たさない者の薬学専門実習の履修を許可することがある。

VI 学科への配属の申込みは、次の規定によるものとする。

- イ 全学共通科目の卒業要件単位64単位以上を修得し、かつ、学部科目において、必修科目18単位以上、選択科目34単位以上及び薬学専門実習12単位を修得した者は、学科への配属を申し込むことができる。
- ロ イの規定にかかわらず、特別の理由がある場合は、教授会の議を経てイの要件を満たさない者の学科への配属の申込みを許可することがある。

VII 特別実習の履修は、次の規定によるものとする。

- イ 全学共通科目の卒業要件単位64単位以上を修得し、かつ、学部科目において、必修科目18単位以上、選択科目34単位以上及び薬学専門実習12単位を修得した者は、特別実習を履修することができる。
- ロ イの規定にかかわらず、特別の理由がある場合は、教授会の議を経てイの要件を満たさない者の特別実習の履修を許可することがある。
- ハ 特別実習を受けようとする者は、所定の履修願を提出するものとする。
- ニ 特別実習は、薬科学科においては4月から、薬学科においては10月から実施する。

VIII 特別実習のための分野への配属は、次の規定によるものとする。

- イ 各分野への配属可能な学生数は、年度毎に教授会において定める。
- ロ 特別実習のための分野への配属は、配属の前年度までに**VII**イの要件を満たした者について、教授会において定める。
- ハ ロの規定にかかわらず、特別の理由がある場合は、教授会の議を経てロの要件を満たさない者の分野への配属を定めることがある。

IX 医療実務事前学習の履修は、次の規定によるものとする。

- イ 全学共通科目の卒業要件単位64単位以上を修得し、かつ学部科目において、薬学科の必修科目20単位以上、選択科目42単位以上、薬学専門実習12単位を修得し、かつ、特別実習のための分野への配属をしている者は、医療実務事前学習を履修することができる。
- ロ イの規定にかかわらず、特別の理由がある場合は、教授会の議を経てイの要件を満たさない者の医療実務事前学習の履修を許可することがある。

X 病院実務実習及び薬局実務実習の履修は、次の規定によるものとする。

- イ 医療実務事前学習2単位を修得し、共用試験に合格した者は、病院実務実習及び薬局実務実習を履修することができる。
- ロ イの規定にかかわらず、特別の理由がある場合は、教授会の議を経てイの要件を満たさない者の病院実務実習及び薬局実務実習の履修を許可することがある。

附 則

この学修要項は、平成28年4月1日から実施する。

附 則

- 1 この学修要項は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の学修要項は、この学修要項の施行の日以後に入学した者から適用し、同日前に入学した者については、なお従前の例による。

H30(2018)以降入学者の
卒業に必要な単位数

科目区分		履修区分	取得すべき単位数 (卒業必要単位数)	計	備考
全学 共通 科目	人文・社会科学科目	選択科目	10単位以上	10単位以上	
	自然科学科目 健康・スポーツ科目 情報学科目	必修科目	10単位	32単位以上	
		選択必修科目	選択必修科目 12単位以上を含む		
		選択科目(必修科目及び選択 必修科目以外の科目)	22単位以上		
	キャリア形成科目	必修科目	4単位	4単位	
	キャリア形成科目 (必修科目を除く) 統合科学科目 少人数科目	選択科目	2単位以上	2単位以上	単位互換等科目を除く。
	外国語科目	英語 必修科目	8単位 (8単位)	16単位以上	
第2外国語 (英語以外の1外国語)		8単位以上			
選択科目		(8単位以上)			
計		64単位以上 (必修科目以外のE科目4単位を含む)			
学部 科目	講義	必修科目	18単位	56単位以上	
		選択科目	38単位以上		
	実習	実習科目	12単位	22単位以上	
		特別実習	10単位		
	計		78単位以上		
合計			142単位以上		

【注1】 全学共通科目と学部科目をあわせて、1開講期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位とする。詳細については、「京都大学薬学部における履修登録単位数の上限に関する内規」を参照のこと。

【注2】 全学共通科目及び学部科目の必修科目、選択必修科目及び選択科目等の各授業科目については、それぞれ別に定める。

【注3】 Kyoto iUP生は要卒単位(全学共通科目)に関する取扱いを別途定める。

【科目区分の定義】

- ・必修科目 : 卒業するために単位取得が絶対に必要な科目。
- ・選択必修科目 : 卒業に必要な単位数を取得する際、必修科目ほど必須ではないが、薬学部において履修が強く推奨される全学共通科目。
- ・選択科目 : 卒業に必要な単位数を取得する際、選択することが可能な科目。

H30(2018)以降入学者の
全学共通科目の卒業必要単位数

群	授業科目、必修・選択必修科目の別、単位数その他					
人文・社会科学科目	10単位以上					
健康・スポーツ科目(自) 情報科学科目(情) 自然科学科目(健)	32単位以上					
	区分	群	科目名	単位数	備考	
	必修科目	自		基礎物理化学(熱力学)	2	薬学部開講科目を履修すること ※基礎化学実験の再履修者については、薬学部開講科目以外の科目を履修することができる
		自		基礎有機化学Ⅰ	2	
		自		基礎有機化学Ⅱ	2	
		自		基礎化学実験※	2	
		健		「薬の世界」入門	2	
	選択必修科目	自		微分積分学(講義・演義)A	3	
		自		微分積分学(講義・演義)B	3	
		自		線形代数学(講義・演義)A	3	
		自		線形代数学(講義・演義)B	3	
		自		物理学基礎論A	2	
		自		物理学基礎論B	2	
		自		熱力学	2	
		自		物理学実験	2	
		自		生物学実習Ⅲ	2	
		自		統計入門	2	
		自		Introduction to Molecular Cell Biology-E2	2	R4年度以降入学者のみ
		自		Basic Biology and Metabolism-E2	2	R4年度以降入学者のみ
		自		Introduction to Biosciences-E2	2	R4年度以降入学者のみ
		自		Introduction to Biological Data Analysis-E2	2	R4年度以降入学者のみ
		自		Introduction to Computational Molecular Biology-E2	2	R4年度以降入学者のみ
		健		健康・生命科学入門	2	
		情		情報基礎	2	薬学部開講科目を履修すること
		情		情報基礎演習	2	
		選択科目	上記以外の科目			
	キャリア形成科目	必修科目 (E3科目)		科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A	2	
			科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B	2		
キャリア形成科目(必修科目を除く) 統合科学科目 少人数教育科目				2単位以上(単位互換科目を除く)		
外国語科目	英語		8単位			
	区分	科目名	単位数	備考		
	必修科目		英語(リーディング)	4		
			英語(ライティング-リスニング)A	2		
			英語(ライティング-リスニング)B	2		
第2外国語	英語以外の1外国語		8単位以上			
[ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語(留学生のみ)]						
必修科目以外のE科目			4			

Kyoto iUP生の要卒単位(全学共通科目)に関する取扱い

群	履修許可に関する取扱い
人文・社会科学科目	外国文献研究(E1科目)を除く。
自然科学科目(自) 健康・スポーツ科目 (健) 情報学科目(情)	「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目については、英語で開講される科目を修得した場合も卒業に必要な単位として認定する。英語で開講される科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、日本語で開講される科目のみ卒業に必要な単位として認定する。卒業に必要な単位として認定されない場合、E科目の単位としても認定されない。
外国語 英語	英語の履修を推奨するが、英語能力によっては日本語(中級以上)で読み替えを認める。
外国語 第2外国語	初修外国語として認める日本語科目は原則、上級科目のみとする。

R7(2025)以降入学者の
全学共通科目の卒業必要単位数
(Kyoto iUP生用)

群	授業科目、必修・選択必修科目の別、単位数その他				備考	
人文・社会科学科目	10単位以上				外国文献研究(E1科目)を除く。	
健康・スポーツ科目(自) 健康・生命科学科目(自) 情報科学科目(情)	32単位以上				左記の科目のうち、「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目については、英語で開講される科目を修得した場合も卒業に必要な単位として認定する。ただし、英語で開講される科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。もしそれらを同じ学期に修得した場合、日本語で開講される科目のみ卒業に必要な単位として認定する。卒業に必要な単位として認定されなかったほうの科目は、E科目の単位としても認定されない。	
	区分	群	科目名	単位数		
	必修科目	自		基礎物理化学(熱力学)		2
		自		基礎有機化学 I		2
		自		基礎有機化学 II		2
		自		基礎化学実験		2
		健		「薬の世界」入門		2
	選択必修科目	自		微分積分学(講義・演義)A		3
		自		微分積分学(講義・演義)B		3
		自		線形代数学(講義・演義)A		3
		自		線形代数学(講義・演義)B		3
		自		物理学基礎論A		2
		自		物理学基礎論B		2
		自		熱力学		2
		自		物理学実験		2
		自		生物学実習Ⅲ		2
		自		統計入門		2
		自		Introduction to Molecular Cell Biology-E2		2
		自		Basic Biology and Metabolism-E2		2
		自		Introduction to Biosciences-E2		2
自			Introduction to Biological Data Analysis-E2	2		
自			Introduction to Computational Molecular Biology-E2	2		
健		健康・生命科学入門	2			
情		情報基礎	2			
情		情報基礎演習	2			
選択科目	上記以外の科目					
キャリア形成科目	必修科目 (E3科目)		科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A	2		
			科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B	2		
キャリア形成科目(必修科目を除く) 統合科学科目 少人数教育科目				2単位以上	単位互換科目を除く	
外国語科目	英語			8単位	英語能力によっては日本語(中級以上)で読み替えを認めることがある。	
	区分	科目名		単位数		
	必修科目	英語(リーディング)		4		
		英語(ライティング-リスニング)A		2		
		英語(ライティング-リスニング)B		2		
第2外国語 英語および母国語を除く1外国語 [ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語]			8単位以上	日本語科目は原則、上級科目のみとする。		
必修科目以外のE科目				4		

2022年度以降入学者の薬学部開講科目配当表

別表第3
(薬科学科:4年制)

区分	授業科目名	ナンバリング コード	単位	必修科目 選択科目 の別 (現行)	配当年次								備考		
					1年		2年~3年				4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
学 部 科 目 (専 門 科 目)	医 療 系	生理学I(基礎生理学)	UPHA001C301LJ86	2	必修		2								
		生理学II(病態生理学)	UPHA002C303LJ86	2	選択			2							
		生理学III(臨床生理学)	UPHA003C304LJ86	2	選択					2					
		薬理学1	UPHA002C335LJ86	2	必修				2						R6年新設(薬理学Iに対応)
		薬理学2	UPHA003C336LJ86	2	選択					2					R6年新設(薬理学IIIに対応)
		薬理学3	UPHA003C337LJ86	2	選択						2				R6年新設(薬理学IIに対応)
		薬剤学I(製剤学)	UPHA002C310LJ86	2	必修				2						
		薬剤学II(薬物動態学)	UPHA003C312LJ86	2	選択						2				
		ファーマコメトリクス論	UPHA004C311LJ86	1	選択							1			
		バイオ医薬製剤論	UPHA004C316LJ86	1	選択								1		
	臨 床 系	臨床疾病論A	UPHA002C318LJ86	1	選択			1							
		臨床疾病論B	UPHA002C319LJ86	1	選択				1						
		臨床疾病論C	UPHA002C320LJ86	1	選択				1						
		臨床疾病論D	UPHA002C321LJ86	1	選択			1							
		臨床疾病論E	UPHA002C322LJ86	1	選択				1						
		臨床疾病論F	UPHA002C323LJ86	1	選択				1						
		臨床疾病論G	UPHA002C324LJ86	1	選択			1							
		薬物治療学	UPHA004C308LJ86	2	選択							2			
		地域医療薬学	UPHA003C317LJ86	2	選択					2					
		医療社会学	UPHA004C313LJ86	2	選択								2		
		薬局方・薬事関連法規	UPHA004C315LJ86	2	選択								2		
	そ の 他	薬学研究SGD演習	UPHA001C501SJ86	2	選択	2									
		基礎創薬研究	UPHA002C502SJ86	1	選択				1						
		基礎臨床研究	UPHA002C503SJ86	1	選択				1						
		基礎バイオインフォマティクス	UPHA004C402LJ86	2	選択					2					
		ゲノムインフォマティクス	UPHA003C408LJ86	2	選択					2					
		医薬品開発プロジェクト演習1	UPHA003C404SJ86	1	選択			集中							
		医薬品開発プロジェクト演習2	UPHA004C405SJ86	1	選択							集中			
		多職種連携医療体験実習	UPHA001C407PJ86	1	選択	集中									
		早期専門研究体験	UPHA003C504SJ86	1	選択			○	○	○	○				
専門研究導入演習A		UPHA003C505SJ86	1	選択						集中					
専門研究導入演習B		UPHA003C506SJ86	1	選択						集中					
専 門 実 習	薬学専門実習I	UPHA003C901PJ86	3	必修					○						
	薬学専門実習II	UPHA003C902PJ86	3	必修					○						
	薬学専門実習III	UPHA003C905PJ86	3	必修						○					
	薬学専門実習IV	UPHA003C906PJ86	3	必修						○					
	特別実習	UPHA124X002PJ86	10	必修							○	○			

注1) 「配当年次」欄に掲げた数字は、講義科目の15週の毎週授業時数である。

2) 「配当年次」欄の「○」は、実習科目の配当年次である。

3) 履修時期等については「全学共通科目履修の手引き」を確認すること。

H30(2018)以降入学者の
卒業に必要な単位数

科目区分		履修区分	取得すべき単位数 (卒業必要単位数)	計	備考
全学 共通科目	人文・社会科学科目	選択科目	10単位以上	10単位以上	
	自然科学科目 健康・スポーツ科目 情報学科目	必修科目	10単位	32単位以上	
		選択必修科目	選択必修科目 12単位以上を含む		
		選択科目(必修科目及び選 択必修科目以外の科目)	22単位以上		
	キャリア形成科目	必修科目	4単位	4単位	
	キャリア形成科目 (必修科目を除く) 統合科学科目 少人数科目	選択科目	2単位以上	2単位以上	単位互換等科目を除く。
	外国語科目	英語 必修科目	8単位 (8単位)	16単位以上	
第2外国語 (英語以外の1外国語) 選択科目		8単位以上 (8単位以上)			
計		64単位以上 (必修科目以外のE科目4単位を含む)			
学部 科目	講義	必修科目	32単位	86単位以上	
		選択科目	54単位以上		
	実習	実習科目	12単位	46単位以上	
		実務実習	20単位		
		特別実習	14単位		
計	132単位以上				
合計			196単位以上		

【注1】 全学共通科目と学部科目をあわせて、1開講期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位とする。詳細については、「京都大学薬学部における履修登録単位数の上限に関する内規」を参照のこと。

【注2】 全学共通科目及び学部科目の必修科目、選択必修科目及び選択科目等の各授業科目については、それぞれ別に定める。

【科目区分の定義】

- ・必修科目 : 卒業するために単位取得が絶対に必要な科目。
- ・選択必修科目 : 卒業に必要な単位数を取得する際、必修科目ほど必須ではないが、薬学部において履修が強く推奨される全学共通科目。
- ・選択科目 : 卒業に必要な単位数を取得する際、選択することが可能な科目。

H30(2018)以降入学者の
全学共通科目の卒業必要単位数

群	授業科目、必修・選択必修科目の別、単位数その他					
人文・社会科学科目	10単位以上					
健康・スポーツ科目(自) 健康・自然科学科目(自) 情報学科目(情)	32単位以上					
	区分	群	科目名	単位数	備考	
	必修科目	自		基礎物理化学(熱力学)	2	薬学部開講科目を履修すること ※基礎化学実験の再履修者については、薬学部開講科目以外の科目を履修することができる
		自		基礎有機化学Ⅰ	2	
		自		基礎有機化学Ⅱ	2	
		自		基礎化学実験※	2	
		健		「薬の世界」入門	2	
	選択必修科目	自		微分積分学(講義・演義)A	3	
		自		微分積分学(講義・演義)B	3	
		自		線形代数学(講義・演義)A	3	
		自		線形代数学(講義・演義)B	3	
		自		物理学基礎論A	2	
		自		物理学基礎論B	2	
		自		熱力学	2	
		自		物理学実験	2	
		自		生物学実習Ⅲ	2	
		自		統計入門	2	
		自		Introduction to Molecular Cell Biology-E2	2	R4年度以降入学者のみ
		自		Basic Biology and Metabolism-E2	2	R4年度以降入学者のみ
		自		Introduction to Biosciences-E2	2	R4年度以降入学者のみ
自			Introduction to Biological Data Analysis-E2	2	R4年度以降入学者のみ	
自			Introduction to Computational Molecular Biology-E2	2	R4年度以降入学者のみ	
健		健康・生命科学入門	2			
情		情報基礎	2	薬学部開講科目を履修すること		
情		情報基礎演習	2			
選択科目	上記以外の科目					
キャリア形成科目	必修科目 (E3科目)		科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A	2		
			科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B	2		
キャリア形成科目(必修科目を除く) 統合科学科目 少人数教育科目				2単位以上(単位互換科目を除く)		
外国語科目	英語		8単位			
	区分	科目名	単位数	備考		
	必修科目		英語(リーディング)	4		
			英語(ライティング-リスニング)A	2		
			英語(ライティング-リスニング)B	2		
第2外国語	英語以外の1外国語		8単位以上			
[ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語(留学生のみ)]						
必修科目以外のE科目				4		

薬科学科コースツリー(2018年度以降入学者)

2回生指定以降の科目は、2~4回生のどの学年で受講してもよい。但し、受講の前提となる科目が指定されている場合、その単位取得が必要である。(シラバス参照)

大学院進学(博士前期→博士後期課程)、就職など



凡例:

- 全学共通科目
- 薬学部専門科目
- 他学部開講科目
- 必修科目
- 演習系科目
- 実習系科目
- 履修するために前提となる科目
- 理解するために関連する科目
- * 1単位科目
- (開講期間要注意)

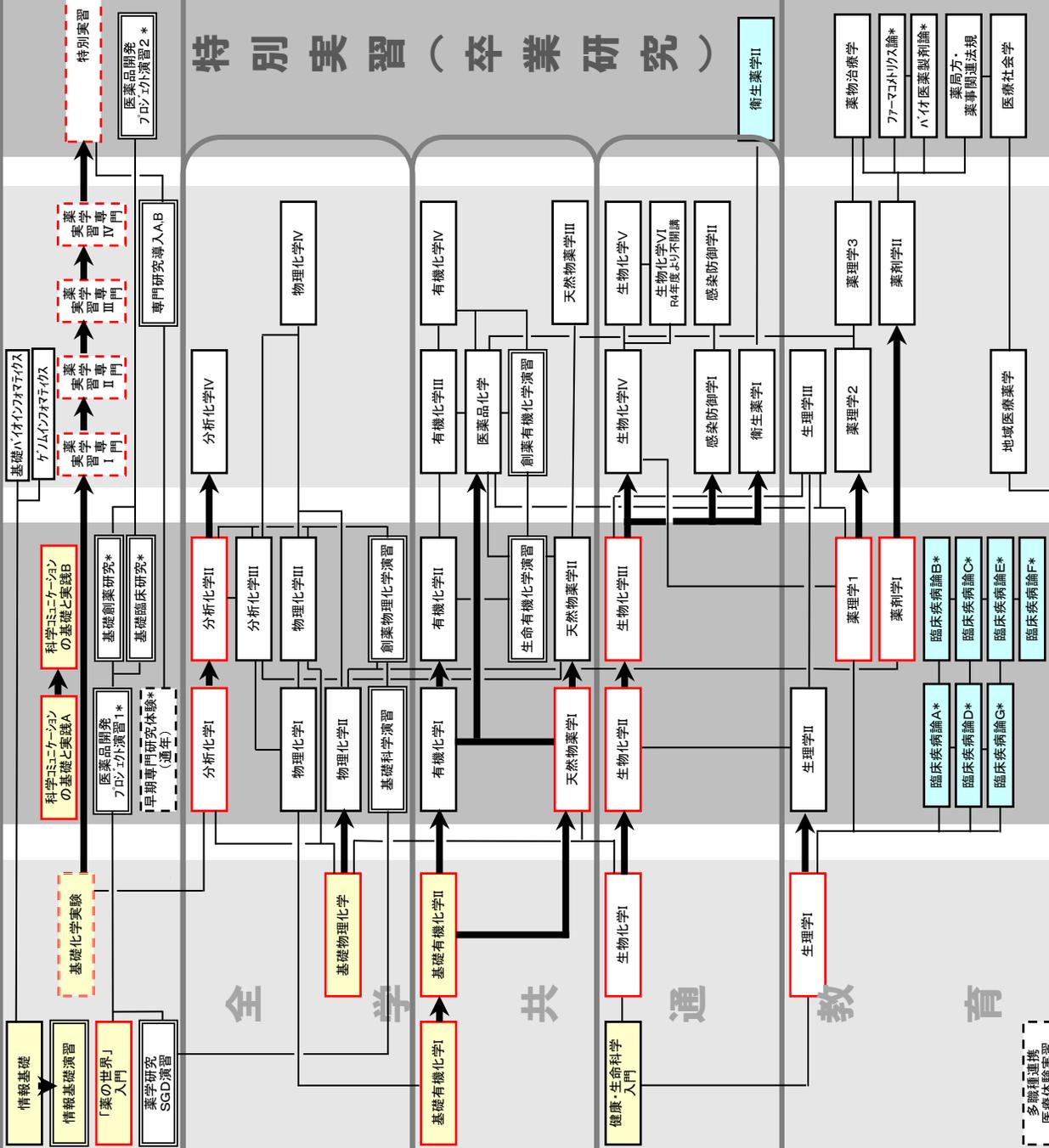
薬科学を構成する創薬化学、生薬薬科学、医薬薬科学に関する専門知識と技術を習得している

グローバルなコミュニケーション力を身に付け、将来、薬科学領域でリーダーとしての役割を果たす基礎を備えている

広範な教養と豊かな人間性、社会性、倫理観に基づき主体的に行動できる

習得した専門知識と技術を総合的に主体的に考え、情報収集し、創薬研究者のリーダーとして必要な問題発見および問題解決の基礎的能力を養っている

特別実習(卒業研究)



情報・語学・演習・実習

物理系科目

化学系科目

生物系科目

医療系科目

多職種連携医療体験実習

薬学 科 カ リ キ ュ ラ ム と 共 通 (3 回 生 後 期 まで)

学 科 振 分 ・ 分 野 配 属

大 学 院 入 試

卒 業 判 定

4 回 生

3 回 生

2 回 生

1 回 生

キャリアデザイン別履修モデル

●必修 ◎強く推奨 ○推奨 ※受講者数制限科目

区分	授業科目名	種類・単位数		レイトスベシヤ	レイトスベシヤ	キャリアデザイン						備考
		薬科学	薬学			天然系	有機化学	学生物分析系	生命科学系	薬理系・薬剤	臨床薬学系	
専門科目	薬学研究SGD演習	選択2	選択2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	基礎創薬研究	選択1	選択1	○	○	○	○	○	○	○	○	クォーター科目
	基礎臨床研究	選択1	選択1	○	○					○	○	
	基礎ゲノミクス	選択2	選択2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ゲノムインフォマティクス	選択2	選択2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	医薬品開発プロジェクト演習1	選択1	選択1	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	集中講義 人数制限あり
	医薬品開発プロジェクト演習2	選択1	選択1	※	※					○(※)	○(※)	集中講義 人数制限あり
	多職種連携医療体験実習	選択1	選択1		○					○		集中講義 人数制限あり
	早期専門研究体験	選択1	選択1	※	※	※	※	※	※	※	※	履修条件あり
	専門研究導入演習A	選択1	選択1	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	7.5週受講で1単位、集中講義
	専門研究導入演習B	選択1	選択1	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	
	医療薬学ワークショップ		必修2									
	医療薬学実験技術		必修2									
	学術情報論		必修2									
	医療実務事前学習		必修2									
	臨床薬学総論		必修2									
	薬学専門実習I	必修3	必修3	●	●	●	●	●	●	●	●	
	薬学専門実習II	必修3	必修3	●	●	●	●	●	●	●	●	
	薬学専門実習III	必修3	必修3	●	●	●	●	●	●	●	●	
	薬学専門実習IV	必修3	必修3	●	●	●	●	●	●	●	●	
特別実習	必修10	必修14	●	●	●	●	●	●	●	●		
病院実務実習		必修10										
薬局実務実習		必修10										
上記推奨科目(○、○)の試験合格で獲得できる選択科目の		薬科学科	35			43	46	44	45		43	卒業要件：選択科目38単位以上
単位総数(必修単位を除く)		薬学科		49		43	46	44	43	47	39	卒業要件：選択科目54単位以上

この表は、時間割作成のだいたいの目安を示すために提供しています。この表をもとにして自分に適合した時間割を組んでください。「レイトスベシヤ型」は、社会人になった際の職種をしぼらないケースの時間割提案です。3年次以降は、自分の興味と将来設計を総合して、必要な科目を受講してください(◎、○をつけた単位のみでは卒業要件を満たしていません)。一方、「キャリアデザイン型」では、将来の職種を想定したケースの時間割です。そのような専門分野で研究を進めたい場合、必要とされる基礎知識を習得できる科目に◎、○が付いています。卒業要件に必要な単位数とは差がありますが、自己責任で履修するかどうか判断してください。なお、無印の科目は「履修しなくてよい」という意味ではありません。自分の興味や将来設計に基づいて選択してください。